

(2) 事業内容

【対象経費】

- ① 新たな医療通訳の雇用に係る人件費（試用期間を含む。）
- ② 医療通訳サービス等の導入に係る経費

【補助対象者】 病院

【補助率等】

- 補助率：1 / 2
 - 補助基準額：①については、1,200 千円
②については、1,200 千円
- ※ 1 病院当たり総額 2,400 千円が補助基準額の上限額となる。

(3) 県負担・補助率の考え方

外国人患者の受入環境整備に対する補助は、医療機関における負担を求め、補助率 1/2 とする。実施期間は最長 3 年までとする。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,400	・ 医療通訳を雇用・育成する経費への補助（600 千円×2 病院） ・ 医療通訳サービス等の導入経費への補助（600 千円×2 病院）
合計	2,400	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 「清流の国ぎふ」創生総合戦略（施策編）
 - 1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり
- (2) 誰もが活躍できる社会

医療通訳ボランティアの育成・確保を進めるほか、市町村や医療機関等と連携し、外国人患者の受診体制の整備を推進する。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	外国人患者受入環境整備事業費補助金
補助事業者（団体）	病院 （理由）外国人患者受入機関である。
補助事業の概要	（目的）外国人患者の受入環境を整備する。 （内容）医療通訳者の雇用、医療通訳サービスの導入に対する補助
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） （内容）補助率 1/2 （理由）医療機関における負担を求める。
補助効果	外国人患者の受入環境整備によって、全ての住民が安心して医療サービスを受けられる環境整備が図れる。
終期の設定	終期 令和 3 年度 （理由）終期が未設定のため

（事業目標）

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

医療通訳の雇用等、外国人患者の受入環境整備によって、円滑な診療及びコミュニケーションを促進し、全ての住民に安心・安全な医療提供体制を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (R2 年度末)	目標 (終期)
① 補助金を交付した病院数		4	4
②			

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	1,257 千円	1,518 千円	924 千円	(予算額) 2,400 千円	(要求額) 2,400 千円
指標①目標	5	5	4	4	4
指標①実績	3	4	4	(推計値) 4	(推計値) 4
指標①達成率	60%	80%	100%	(推計値) 100%	(推計値) 100%
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)

指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
--------	---	---	---	------------	------------

(前年度の成果)

外国人患者の受入環境の充実及び病院内の勤務環境の改善

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
事業終了後の継続的な雇用等

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い</p>	
(評価) ○	医療現場におけるコミュニケーション不足は円滑な診療を妨げるが、医療機関にとって日本語の理解が不十分な患者は少数であり、医療通訳の積極的な雇用等が行われにくい状況であることから、県による支援が必要である。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価) ○	新たに医療通訳の雇用や医療通訳サービスの導入をする病院があり有効
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある</p>	
(評価) ○	医療機関における、単独での医療通訳の雇用等が行われにくい状況であるため効率的。

(事業の見直し検討)

外国人患者の受入環境整備を更に推進するため、引き続き支援を行う。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止
(理由)